





本日はお集まりいただきありがとうございますと「ごうごう」言っています。
それでは早速ではありませんが本日のオークションを開始させていただきます。



「こんな晒しモノにされるなんて思いませんでしたわ」

「ご覧ください！一点の穢れもありません。
今回は特別に公開でアナル開発を「ご覧いただきます」。

ズブズブーッ

ツツ

「なっー」



(いっ！何か入って)



こちらのボタンを押すと拡張が始まります。

(どうなるかわかりませんが...)



今回は当館運営の学園を代表して彼女に押ししてもらいます。
出来るかな？
子供「わーいー！」「ピッ！

(うぐっ！そんな！お尻の穴が、広がって)



まだまだいけるでしょう
子供「がんばえー!」
……そろそろでしようか

「もうこれ以上は、さげちやう、無理ですわ!」



では続きましてAIによるアナル開発をしていきます。
お客様にはこちらの8本の脚の
どれが一番先に絶頂に導けるか予想して頂きます。

「ひっ冷たい」



脚の先端からは強力な媚薬が分泌されており、見事当てられましたお客様からオークションを開始させていただきます。

(私の中を好き勝手に弄られてる！)



絶頂に達した瞬間、電流が流れ、
その時の感覚を脳に焼き付け
その状態を維持するように改造します。



(敏感にされてるから、触れてる箇所が直接伝わってくるっ
そ、そこは)

ん
わ
っ

先ほどの電気で脳とアナルは完全に感覚を共有し
今は性感帯が剥き出し状態、風が当たるだけでも
じっとしていられないでしょう



(頭が、お尻が敏感になりすぎて、身体に力が、)

そこにこちらの寄生型機械触手のキメラで
熟成させていきます。

「何それ、もうやめてくださいませー」

んっ！



ガバガバになった肛門で頑張ってますね(笑)



んー

(いま、こんなもの入れられたら絶対おかしくなっちゃってしまいますわ)

あー残念、惜しかったですね

(そんなあつー！)



(中つがあ♡お尻もあそこもおしつこの穴も犯されてる♡)



触手は絶頂が近づくと発光して愛液と触手との混合液は
絶頂の瞬間を数倍に高めてくれます。

「！何か来る、もうっ！無理ですうー！」







































